

# 第148期ご報告

2012年4月1日～2013年3月31日



NEWS  
FLASH

## 成長し続ける100年企業を目指し、 中期経営計画 Nitto-2015をスタート

日東電工グループは、常に変化をチャンスとしてとらえ、自らを変革し新たな領域を開き続けてきました。

今年度は「成長し続ける100年企業」を目指し、3年間の中期経営計画Nitto-2015をスタートさせました。

近年はグローバル化のセカンドステージの活動を本格化させるため、中国をはじめ、インド、ブラジル、トルコ等新興国を中心に拠点を整備してきました。

この3年間では、これらの拠点を起点に、各国、地域の視点で現地需要をつかみ、そのエリアでトップになれる製品「エリアニッチトップ製品」を生み出す動きを一層加速させていきます。

その動きと呼応して、世界に向けたブランド活動の強化を図ります。その一環でブランドマークの刷新も行います。

目的は、大きく2つです。

ひとつは、覚えやすいネーミングやブランドマークで世界の企業認知度を高め、情報入手力や発信力を強くすること。もうひとつは、一層のグローバル化の進展の中で、グループ社員全体の求心力となる共通の価値観をグループ内に確立していくことです。

2013年秋には、新しいブランドマークの発表も行います。株主のみならず皆様におかれましては、従来同様ご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# TOP MESSAGE

株主のみなさまにおかれましては、日ごろからのご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

日東電工グループでは、2011年度の「挑む年」から、2012年度を市場で勝ち、競合に勝ち、自らに「克つ年」として事業をすすめてまいりました。2013年度は、「越える年」と位置付け、一人ひとりがこれまでの意識を越えて果敢にチャレンジすることで、世界で戦う実力を身につけます。

## 2012年度業績について

主力市場のエレクトロニクス業界では、需要旺盛なスマートフォンやタブレットPC向けに新製品を投入しました。自動車業界では、生産台数の回復に伴いインダストリアルテープを中心に拡販しました。同時に、新製品、新事業を創出するための取り組みである多軸化戦略とグローバル展開を積極的に推進した結果、特にインダストリアルテープや医療事業において、新たな成長の胎動を感じる方向に向かい始めました。



極薄両面接着テープ

その結果、売上高6,756億円(2011年度比11.2%増)、営業利益686億円(同21.6%増)、経常利益673億円(同15.3%増)、純利益438億円(同41.1%増)となりました。

## 2013年度の取り組み

インダストリアルテープでは、現地で開発、材料調達から生産、販売まで一貫して対応できる体制づくりを行い、更なるグローバル化をすすめます。年内には、ブラジルに自動車関連材料の新工場を竣工します。



ブラジル新工場の完成予想図

オプトロニクスでは、スマートフォンやタブレットPCでの需要増加が引き続き見込まれる、情報機能材料の売上を中心に拡大します。

メディカル&メンブレンでは、事業基盤を強化し全体の収益力を上げていきます。

これらの事業機会を逸することなく、設備投資を積極的に行い、迅速な判断で健全な成長を実現します。当年度の設備投資額は、過去最高となる900億円を計画しています。

以上により業績見通しは、売上高7,650億円(2012年度比13.2%増)、営業利益960億円(同39.8%増)、経常利益960億円(同42.5%増)、純利益670億円(同52.8%増)と、いずれも過去最高を計画しています。

## 配当金について

「ものづくり」をするメーカーとして、急速な技術革新への対応と顧客ニーズにタイムリーに応えるための研究・開発、生産に関わる積極的な先行投資などの必要性、そして財務状況、利益水準、配当性向等を総合的に勘案して実施します。

2012年度は、期末配当を1株につき50円、年間配当は100円と、2011年度と同額とさせていただきます。なお、2013年度は、設備投資の拡大と利益状況など総合的に勘案して、年間100円を予定しています。

## 中期経営計画 Nitto-2015

この計画では、最終年度の2015年度には売上高9,200億円、営業利益1,200億円を目指します。「安全・安心な職場を基本とした“健全な事業成長”の推進」を基本コンセプトに、「事業の成長」「質の向上」「人財の成長」の3つを重点項目として取り組んでまいります。内容につきましては次ページにて説明いたします。

日東電工グループは2018年に創立100周年を迎えますが、成長し続ける企業であるために変化することを恐れずに、更なる発展を目指します。

今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

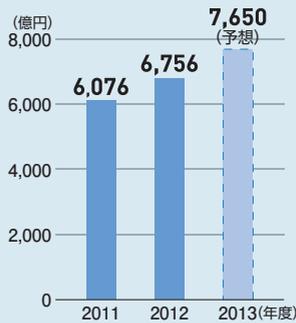
取締役社長

柳楽 幸雄

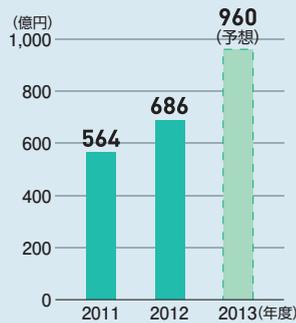


# 業績ハイライト

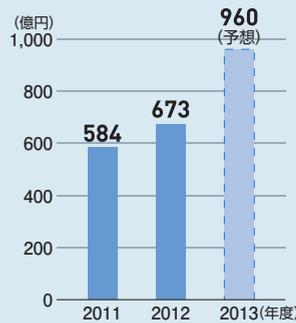
## 売上高



## 営業利益



## 経常利益



## 当期純利益



## 海外売上高比率

71.8%

海外売上高 **4,848** 億円  
国内売上高 **1,907** 億円

## 自己資本比率

65.9%

自己資本 **4,887** 億円  
総資産 **7,414** 億円

## 1株あたり配当金



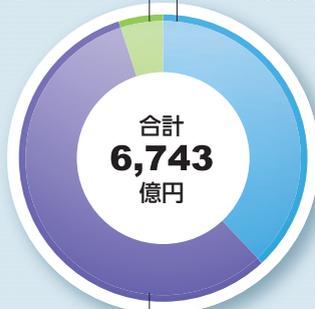
### 当期のポイント

- 1 スマートフォンやタブレットPC向け部材の受注数量増と円安効果により、増収増益となりました。
- 2 オプトロニクスが売上・利益ともにけん引し、メディカル&メンブレンは営業黒字に回復しました。
- 3 配当は前期と同額の年100円といたしました。次期配当は、当期と同額の年100円を予定しています。

# セグメント概況

## ●セグメント別売上高構成比(※)

メディカル&メンブレン **5%**  
インダストリアルテープ **38%**



オプトロニクス **57%**

※決算短信のセグメント情報「外部顧客への売上高」における構成比です。

## インダストリアルテープ



自動車業界向けテープは、日中問題の影響を受けたものの北南米や南アジア向けが好調で、全体としては堅調でした。エレクトロニクス業界向けテープは、スマートフォンやタブレットPC向けは堅調でしたが、パソコンやデジタル家電向けは市場の冷え込みにより弱含みとなりました。工業用途全般に使用される汎用性の高いテープは、グローバルでの更なる競争激化が予想されますが、トルコNo.1のテープメーカー、ベント社を買収するなど体制強化を図りました。

## オプトロニクス



スマートフォンやタブレットPC向け市場が持続的に拡大したことから、透明導電性フィルムなどの情報機能材料や、半導体の製造工程用テープなどのプロセス材料が好調でした。半導体用材料は、10月1日より半導体用封止材事業(光半導体向け除く)を日立化成株式会社へ譲渡したことで売上が減少しました。プリント回路はパソコン需要の低迷が続きHDD(ハードディスク・ドライブ)市場の回復が遅れており、その影響を受けました。

## メディカル&メンブレン



メディカルは、医療関連材料は堅調に推移しましたが、医薬品の経皮吸収型テープ製剤が薬価改定の影響を受けたことに加え、米国の核酸医薬グループ会社が、顧客のプロジェクト案件延期などにより厳しい展開でした。メンブレンは、新興国向け一般工業向けに注力したことや、過去に受注した海水淡水化案件の出荷により堅調に推移しました。

# 中期経営計画 Nitto-2015

## 持続的なイノベーションと果敢なチャレンジで成長性を取り戻すアクションプラン

日東電工グループは、2018年に創立100周年を迎えます。

「社会から信頼され、従業員が誇りを持って働いている永続的に成長する100年企業」

となるためにも、中期経営計画「Nitto-2015」の3年間において、

日東電工グループの企業価値をよりグローバルに高めることを目指します。

この計画では、「事業の成長」「質の向上」「人財の成長」の3つを重点項目として

取り組めますが、ここでは特に「事業の成長」についてそのポイントをご説明します。



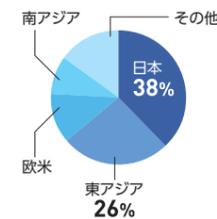
### 過去最高水準の設備投資額

健全な事業成長のため、2013年度から2015年度の3年間で、総額で2,000億円強の設備投資を計画しています。これは過去最高水準の投資額です。

スマートフォンやタブレットPCに使用される部材の生産能力の増強や、既存製品での生産性向上のために投資し、競争力を強化・維持します。また、新たな成長分野へも積極的に投資します。

右の円グラフは、設備投資計画のエリア別の内訳です。海外現地法人への設備投資を通じて、事業の競争力を高めることがグローバル化を促進すると考えています。

### エリア別の設備投資計画



### 2018年にありたい姿

社会から信頼され、従業員が誇りを持って働いている永続的に成長する100年企業

人財の成長

質の向上

事業の成長

1,200億円

13.0%

686億円  
10.1%

960億円  
12.5%

6,756億円

7,650億円

53%

54%

2012年度

2013年度

### 過去最高を目指す数値目標

2013年度に売上高・営業利益とも過去最高を更新、2015年度には売上高9,200億円、営業利益1,200億円を計画しています。この計画では、売上高11%、営業利益20%の高い年平均成長率を目指します。

新興国をはじめとした海外で売上を拡大し、売上高・営業利益とも過去最高実績の更新にチャレンジします。

9,200億円

55%

25%

2015年度

営業利益  
営業利益率

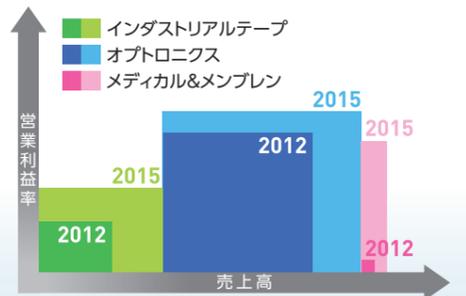
- 欧州
- 米国
- 南アジア
- 東アジア
- 日本

### 2015年度の成長イメージ

下図は2012年度と2015年度のセグメント別の売上高と営業利益率のイメージです。

Nitto-2015をやり切ることで、オプトロニクスが安定的に収益を稼ぎながら、インダストリアルテープを再び飛躍させます。メディカル&メンブレンでは、製品開発の充実や新たな用途展開を図ることで収益力を強化します。

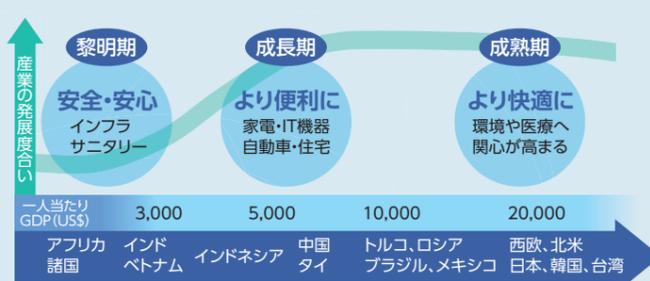
### 2012年度と2015年度のセグメント別の売上高と営業利益率 (イメージ)



### 中期経営計画を支える期待の製品たち

日東電工グループは、世界各国で産業の発展度合いに応じた製品を連続的に提供してきた結果、現在では約70業界に13,500種類の製品が生まれています。この強みに、ここ数年間、エリアニッチトップ戦略と多軸化戦略を加え、更なる磨きをかけてきました。Nitto-2015の期間中に成長が期待できる製品たちを紹介いたします。

#### 産業の発展度合いから見た強み



### 新市場・新製品・新需要での更なる成長

#### 中国市場で防食関連材料の製造販売を開始

日本で長年、蓄積してきた防食関連材料の技術やノウハウで中国社会インフラ施設の課題解決に貢献します。中国では、インフラ設備の腐食問題が顕在化しており補修防食が急務となっています。中国・青島市で現地企業と防食材料などを製造販売する合弁会社を設立することにしました。テープ工法による経済損失の低減に期待が高まっています。



#### 船底保護用フィルム「マリングライド」

海水面下での船底の汚れ・生物付着防止のため、業界で初めてフィルム工法を開発しました。従来の塗料と比較して防汚性が高く、環境にも優しいことが特長です。また燃費や付着物除去の作業性等も向上します。2014年から販売開始予定です。



#### LED用熱硬化性耐熱封止シート

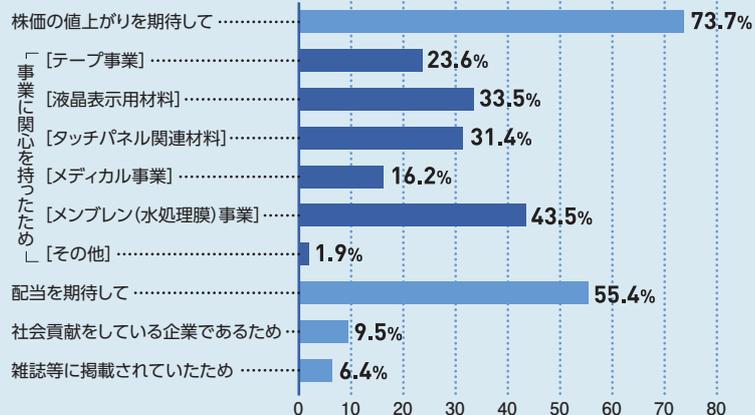
従来の液状タイプではなく、蛍光体を含有させた熱硬化性耐熱封止シートを使用し、更に新しい生産工法を導入することでLEDの高品質、高信頼性、高生産性を実現しました。これにより次世代のLED照明器具の開発や普及に大きく貢献できると考えています。



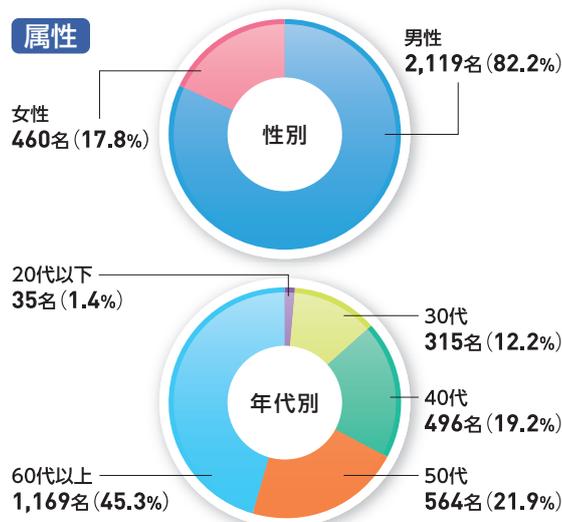
# アンケート結果報告

2012年11月に実施いたしました株主アンケートに、2,579名の方より回答をいただきました。  
お礼を申し上げますとともに、結果の一部をご報告させていただきます。

## ● 当社株式の購入理由についてお聞かせください。(複数回答可)



## 属性



ご質問やご要望もいただきました。

## ( 研究開発への一層の注力をお願いします。 )

日東電工グループは、4つの基本となる技術(粘着技術、塗工技術、高分子機能制御技術、高分子分析評価技術)を持っており、これらの技術を組み合わせることによって、お客様からのニーズに対応しています。新しい技術を身につけるため、常に売上高の4%前後を研究開発に投資しています。また日本、アメリカ、スイス、シンガポールの世界4極にある研究開発拠点では、現地ニーズに合わせた技術開発を積極的に進めています。

## ( 人財育成を大切にしてほしい。 )

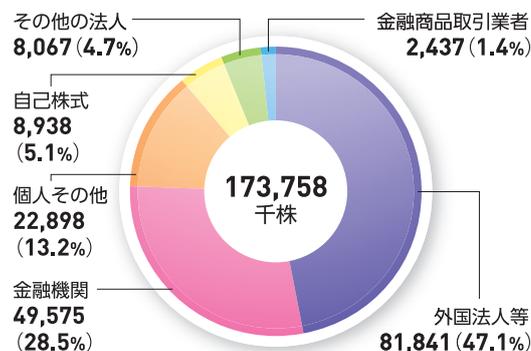
人財育成は経営の最重要課題のひとつであり、中期経営計画Nitto-2015においても大きな柱と位置付けています。日東電工グループが世界で成長していく中で、事業遂行能力のみならず、企業文化やDNAを理解した人財が必要になります。そのために国籍や性別などにかかわらず次世代のビジネスリーダーとなる人財を「Nitto Person」として位置付け、選抜を含めた教育プログラムなどにより育成を始めています。

## ■ 株式の状況 (2013年3月31日現在)

発行済株式の総数 173,758千株  
株主数 49,234名

### 所有者別分布状況

(単位：千株)



## ■ 株主メモ

証券コード 6988(業種:化学)  
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
剰余金の配当受領株主確定日 3月31日(期末配当)、9月30日(中間配当)  
定時株主総会 6月  
単元株式数 100株  
上場金融商品取引所 東京証券取引所、大阪証券取引所  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話:0120-094-777(通話料無料)

※株式に関するお手続きについては、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.nitto.co.jp/ir/admin/index.html>